

環境経済部

運営方針

商工・観光産業の活性化と循環型社会の構築

恵まれた自然環境を保全・活用し、環境美化を推進することで、豊かな自然と市民の暮らしが共生できるまちづくりの浸透を図るとともに、資源の有効利用と廃棄物の適正処理等を進めることで、環境負荷の少ない循環型社会の構築に努めます。

次に、市内の商工業では新型コロナウイルス感染症に伴い影響を受けた市内経済の活性化に向けた支援を行うなかで、商工業者の事業継続や拡大、産業用地の検討、人材の確保等を進めることで、市内の商工業の活性化と雇用の場の創出に努めます。

また、持続的な農業の促進、地産地消の推進及び販売農家の育成に努めるとともに、恵まれた自然を活かした林業の活性化を図り、森林資源の循環利用を図ります。

加えて、本市の有する恵まれた史跡・文化財などの歴史資源をはじめ、多様な地域資源を活かした観光振興を推進することで、交流人口の拡大とまちの魅力向上に努めます。

【重点施策とめざす方向】

自然環境の保全・活用と資源の有効活用を進める計画の策定

自然環境の保全とより良い環境の創造を目指して、環境保全、環境啓発及び環境美化に取り組むとともに、現行環境基本計画等の進捗状況や課題を整理し、必要な調査等を行い、令和3年度を始期とする新たな環境基本計画等を策定します。

次に、ごみの3Rの推進に努めるとともに、ごみ処理の基本的事項を定めた一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定します。

また、昨年度に引き続き、災害等に伴い発生する災害廃棄物について、円滑かつ迅速な処理を目指した災害廃棄物処理計画を策定します。



【実績】

目標どおり達成

現行の環境基本計画の進捗状況を整理し、市民の意識調査の結果を踏まえ、自然と人が今後も共生していくため「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方も取り入れた「第3次環境基本計画」（令和3年度から令和12年度まで）を策定しました。

また、本市のごみ処理に係る基本的事項を定めた「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（令和3年度から令和12年度まで）を策定するとともに、大規模災害時における災害廃棄物の処理に係る「災害廃棄物処理計画」についても策定しました。

し尿処理施設の効率的な処理方針の確立と環境整備事業等の推進

年々減少するし尿の適正な処理方法の確立に向けた衛生処理場の効率的な運用のために今後の整備方針を策定します。

次に、第2清掃工場や衛生処理場に関する環境整備事業について、取組みを進めます。



ほぼ目標どおり達成

今後のし尿処理方法の方向性について、都市環境経済常任委員協議会へ報告を行い、衛生処理場の整備方針を策定しました。

また、第2清掃工場に関する環境整備事業については、工事1件及び設計業務3件、業務委託1件（繰越）に取り組みました。

営農環境の整備と森林資源の循環利用の促進

営農指導の実施や農地の集約化等による営農環境の改善により、販売農家としての担い手を育成し農業振興に努めるとともに、農業基盤整備として水防ため池ハザードマップの作成など防災・減災対策を進めます。

また、森林整備に関して、森林経営管理法に基づく森林所有者意向調査の準備や森林経営計画の作成を促進するとともに、「第2期かわちながの森林プラン」に基づき森林資源の循環利用を推進します。



目標どおり達成

営農指導や営農環境の改善により、販売農家の育成など、農業振興に努め、JA直売所における売上が前年度比約10%増加するとともに、農業基盤整備の実施や水防ため池ハザードマップを作成し、周知しました。

また、森林経営管理法に基づく森林所有者意向調査を実施するための計画を作成するとともに、「第2期かわちながの森林プラン」に基づき、おおさか河内材の利用促進に向け、新たな補助制度を創設しました。

本市商工業の活性化、就労支援の強化

市内の商工業では新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者等に対して経営基盤の強化や事業継続に向けた支援などを行うとともに、雇用の場の創出を図るため、産業用地化の検討を行います。

また、就労支援については、新型コロナウイルス感染症の影響による就労環境の変化に対応するとともに、各関係機関などと連携しながら各層への就労支援の強化に取り組みます。



目標どおり達成

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内事業者等に対して本市独自支援を行うとともに、雇用の場の創出を図るため、産業用地の確保に向け課題整理をしました。

また、就労支援については、新型コロナウイルス感染症の影響による就労環境の変化を考慮しながら個別相談支援を実施しました。

「観光振興計画」の推進

道の駅「奥河内くろまろの郷」を観光振興のハブ拠点に位置づけ、他の観光資源とのネットワーク化を図ります。

また、観光振興計画に基づく取組みを計画的に進め、集客と消費を高める観光振興を推進することにより、交流人口増加による市内経済の活性化に取り組みます。



ほぼ目標どおり達成

道の駅「奥河内くろまろの郷」を観光ハブ拠点として集客が前年度比約7%増加しました。

また、観光振興計画に基づき、マイクロツーリズムなど時代に即した形で観光戦略の実施やマーケティング調査による実態の把握、情報発信の充実、観光関連団体などと連携しながら交流人口の増加に努めました。

文化財等を活用した観光の推進 (日本遺産・楠公さん大河ドラマ誘致など)

「日本遺産」のまち河内長野を活かし、本市の認知度と魅力の向上を図り、観光客数の増加を促進し、地域活性化に取り組みます。

また、「楠公さん」をテーマとした「NHK大河ドラマ」誘致に向け楠公さん大河ドラマ誘致協議会や楠公ツーリズム推進協議会と連携しながら広域観光の推進に取り組みます。



目標どおり達成

日本遺産として「女人高野」「葛城修験」が追加認定されたことを契機に「かわちながの観光キャンペーン」や秋のイベント開催などにより、本市の認知度と魅力向上を図りました。

また、「楠公さん」NHK大河ドラマ化に向けては、誘致協議会加盟団体が66自治体になり署名数も増加するなど広域観光の推進につなげました。